

会 議 録

会議名	辰野町文化財保護審議会（第3回）
開催日時	平成26年3月17日（月） 午後2時30分～午後4時30分
場所	町民会館 104号学習室
出席者	14名中 12名（審議委員9名、事務局3名）
会議次第	<ol style="list-style-type: none">1. 開会2. あいさつ3. 協議事項<ol style="list-style-type: none">(1) 文化財保護経過報告について(2) 十一面観音収蔵庫について(3) 掲額の調査について(4) 長野県近代和風建築概要調査について(5) 史料の歴史館への保管委託について(6) 『辰野町史料』の発行計画について(7) その他4. その他5. 閉会
会議内容	<ol style="list-style-type: none">1. 開会2. あいさつ3. 協議事項<ol style="list-style-type: none">(1) 文化財保護経過報告について 前回（10月）以降の事項について報告。(2) 十一面観音収蔵庫について 県の文化財パトロールで、収蔵庫の傷みを指摘されていた。地元で例年度実施するという事になったため、管理団体として、町が修繕を実施することとした。 国の平成26年度第2次申請（夏以降）で補助金採択をうけて実施したい。 内容は防犯・防火。濡れ縁、外壁の修繕。内装（壁・換気）等予定。(3) 掲額の調査について 調査の結果を事務局でカード化してみたので確認願いたい。 矢彦神社と五十鈴山神明宮について作成。

(4) 長野県近代和風建築概要調査について

県から近代和風建築総合調査事業の依頼文書がきている。広範囲な対象で、対応できなくなっている。

和風建築とはしているが、規模の大きな物などが対象と考えられる。

新建材の使われる前の建物を対象としたいのではないか。

まずは広報での募集をしてみることにした。(

(5) 史料の歴史館への保管委託について

辰野町では多くの文献資料があり、ここ数年緊急雇用事業でデジタル化を進めてきた。

この先、万が一資料に毀損や滅失が生じた際、データを残すために、歴史館にデータの写しを保管・活用してもらったかどうかと考えている。ご検討頂きたい。

デジタル化の作業を進めるには、相当の人員の確保と予算化が必要となってくる。業者委託が望ましい。

歴史館での写しの保管は、資料の保存・活用の上でも有効なことである。

歴史館保管については実施する方向で相談していく。

(6) 『辰野町史料』の発行計画について

110号は印刷中。24日に発行予定。

(7) その他

- ・市民新聞文化財紹介原稿について
執筆分担について確認。

- ・シダレグリ研修視察について

補助金申請してシダレグリの保存管理計画作成を要望したが、査定で落とされた。

以前樹木診断の折に視察してもらった事が縁で、3月24日にみどりの輪（樹木医と、造園組合計30人の組織）の総会が辰野町で開かれることになった。

講演会（講師：石井誠治先生）や現地視察へのお誘いもあるので、都合をつけて参加してほしい。

- ・御陵塚のサワラについて

中村姓から枯枝等の処理と倒木対策について相談があり、樹木診断をした後、見積りをしたが高額であったため、とりあえず枝の整理を行った。

対策は枯れ枝の撤去と、倒木防止のためのワイヤーの設置が主な処置。

・五十鈴山文庫

小野区雨沢耕地に所在する五十鈴山文庫の寄贈の話が神社総代からあった。
国学の盛んであった小野村の歴史を語る資料として、文献資料ではなく、歴史資料として受け入れることとした。
史料は 66 種類、329 冊ある。

・古城のケヤキ結果報告

町建設水道課の委託事業で、2月27日の枯れ枝除去に伴って、樹木の状況を診断した。その結果の説明を受けた。

大きな枝には空洞が目立ち、校舎側の木が二股に別れているが、その別れている部分に枝葉がたまると、そこから腐朽し、裂ける可能性がある。

そのような箇所が何箇所か見られる。今すぐ倒れるわけではないと思うが、衰弱が目立ってくると危険である。対策としては、幹をワイヤーで吊る方法が適当ではないかとの指摘を受けた。

根の回りが露出し、踏圧の可能性も指摘をうけており、なるべく入らないように処置した方がいいのかもしれない。

全体的には、衰弱していく方向に向かっているとの指摘であったと理解したので、文化財保護の立場としても気をつけていかないといけないと感じた。

・宮木諏訪神社社叢について

保存樹林であるが、届出なく伐採が行われている。前回は届出を出してくれたが、今回はなかったので、宮木区に確認することとした。

4. その他

・矢彦神社神楽殿

傷んできているので修繕する方向で検討しているが、修繕費が高額なため、悩んでいるようだ。具体的な方向性が見えないので報告のみさせていただく。

5. 閉 会

※視察

宮木諏訪神社社叢